

# 岐阜県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

岐阜県は、面積が1万621km<sup>2</sup>で全国第7位の広さを誇り、7つの県に囲まれた数少ない内陸県の一つである。

3,000m級の山々を抱える飛騨地方と、海拔0mの水郷地帯まで広がる美濃地方まで及ぶ本県は、気候も変化に富んでいる。また、美濃から飛騨にかけて多種多様な農作物が年間を通じて栽培され、名古屋など大消費地に比較的近い立地条件を生かし、いつでも新鮮な農産物が供給できる地域である。

古くからのづくりが盛んで、製造業は岐阜県の中心的な産業であり、全産業のうち製造業の従業者数が占める割合は24.7%で、全国第6位(全国15.6%)となっている。家具・木工、刃物、紙、陶磁器など、匠の技と日本の美を象徴する伝統工芸を生み出し、さらにそうして培われたモノづくりの精神と技を礎にして新しい技術を取り入れながら発展を続け、伝統的な地場産業に加え、輸送機械、電気機械、工作機械、金型など個性ある技術を誇るさまざまな製造業が集積している。

岐阜、西濃地域では、トマト、いちごなどの施設野菜、ほうれんそう、えだまめなどの露地野菜、かきなどの果樹や切りバラなどの花きが栽培されている。南西部の平地では、暖かい気候を生かして、稲、麦、大豆作が盛んに行われている。中濃、東濃、飛騨地域の山間地から高冷地にかけては、夏の涼しい気候を活かした夏秋トマト、夏ほうれんそうなどの野菜の栽培が盛んであるほか、山地を利用して、肉用牛、乳用牛の飼育も行われている。水産業では、あゆやます類を中心とした河川漁業や養殖漁業が行われている。

本格的な人口減少社会を迎え、将来的に国内マーケットの縮小が見込まれる中、海外では、アジア地域での富裕層の増加や日本食ブームを背景に、魅力あるマーケットが形成されつつある。

岐阜県では、岐阜県農林水産物輸出促進協議会(事務局：JA全農岐阜)と連携し、飛騨牛・鮎・柿を中心に県産農産物の輸出促進に取り組んでいる。

また、新たな需要に対応するため、飛騨牛の生産拡大へ岐阜大学及びJA全農岐阜との連携により「飛騨牛繁殖研修センター」を拠点に、飛騨牛の素(もと)となる子牛を安定供給と、新たな担い手育成に取り組んでいる。

令和2年に開所したスマート農業推進センター(海津市)に加え、令和3年から、農業技術センター(岐阜市)と中山間農業研究所(飛騨市、中津川市)を新たに推進拠点に位置付け、情報発信機能を強化した。

## 主な農林水産物

### あゆ(養殖)

中濃・西濃・岐阜地域を中心に生産。長良川でレジャーとしての釣りも盛ん。全国の収穫量の約2割を占める。(収穫量全国2位)



### 花木類(鉢もの類)

岐阜地域を中心に生産。全国の出荷量の約1割を占める。(出荷量全国3位)



### かき

岐阜地域を中心に生産。富有柿は同地域が発祥で、県内のかき栽培面積の約7割を占める。(収穫量全国4位)



### くり

岐阜・東濃地域を中心に生産。岐阜県の銘菓「栗きんとん」の原材料に多く使われている。(収穫量全国4位)



### ほうれんそう

岐阜・飛騨地域を中心に生産。夏は高冷地、冬から春は平坦地において、通年生産されている。(収穫量全国6位)



### トマト

飛騨・西濃地域を中心に生産。早くからマルハナバチによる自然交配や化学合成農薬の使用削減に取り組む。(収穫量全国7位)



### えだまめ

岐阜市長良川河畔を中心に生産。関西地方に出荷。(収穫量全国11位)



### 生しいたけ

飛騨地域を中心に生産。主に菌床しいたけを栽培している。(生産量全国13位)



### 茶

西濃・中濃地域を中心に生産。西濃地域の「美濃いび茶」、中濃地域の「美濃白川茶」が二大銘柄。



### 肉用牛

飛騨地域を中心に生産。飛騨牛は県内統一のブランド牛。(飼養頭数全国22位)



# 岐阜県内の各地域における農林水産物

## 中濃地域

【農畜産物】花壇用苗もの類、さといも、茶、だいこん、プロイラー  
 【林産物】きくらげ、しいたけ（原木）  
 【水産物】あゆ（養殖）、にじます（養殖）

## 飛騨地域

【農畜産物】ほうれんそう、トマト、かぶ、もも、りんご、水稻、肉用牛、豚、生乳  
 【林産物】しいたけ（菌床）  
 【水産物】にじます（養殖）

## 岐阜地域

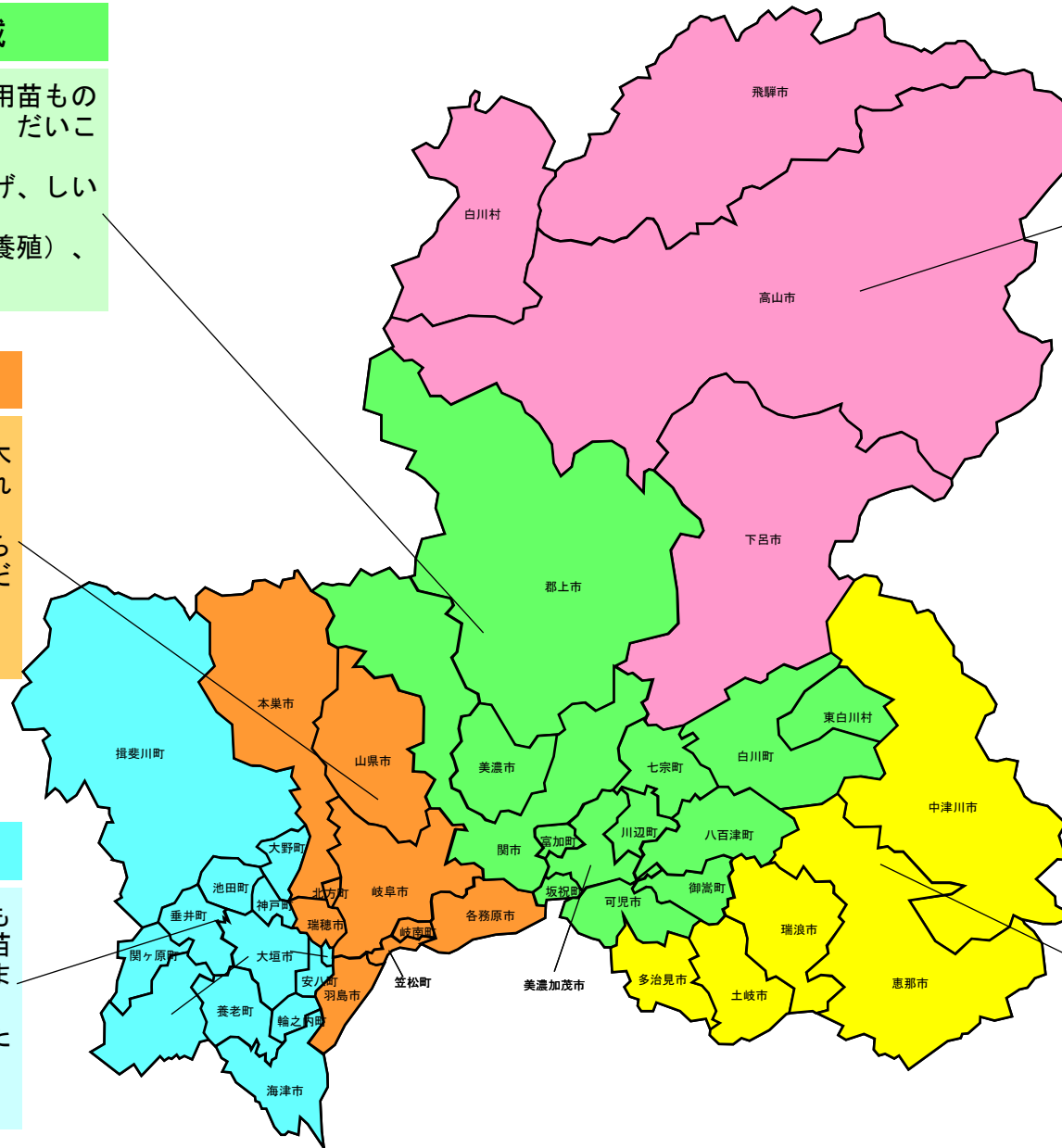
【農産物】鉢もの類（花木類）、かき、くり、ほうれんそう、えだまめ、かぶ、さといも、にんじん、ばら（切り花類）、いちご、だいこん、クレソン  
 【水産物】あゆ（養殖）

## 西濃地域

【農産物】観葉植物（鉢もの類）、トマト、花壇用苗もの類、モロヘイヤ、こまつな、小麦、茶、六条大麦、大豆、しゅんぎく、たまねぎ、水稻、きゅうり  
 【水産物】あゆ（養殖）

## 東濃地域

【農畜産物】くり、シクラメン（鉢もの類）、なす、鶏卵、豚、プロイラー、生乳



# 岐 阜 県 の 農 業 ( 1 )

- ・耕地面積は5万5,200haで全国第25位。うち田は4万2,300haで20位。
- ・農業経営体数は2万1,015経営体数で全国第24位。うち法人経営体は675経営体で18位。
- ・認定農業者数は2,192経営体で全国第32位。うち法人数は576法人で17位。

## 耕地面積

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
耕地面積	55,200 ha	4,349,000 ha	25
田	42,300 ha	2,366,000 ha	20
畑	12,900 ha	1,983,000 ha	31
普通畑	8,780 ha	1,126,000 ha	24
樹園地	2,980 ha	263,200 ha	27
牧草地	1,150 ha	593,400 ha	14
参考) 総土地面積	1,062,129 ha	37,797,463 ha	7

出典:「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	1,850 ha	281,831 ha	40

出典:「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

## 担い手への農地の集積状況

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	20,962 ha	2,535,115 ha	28
集積率	37.8 %	58.0 %	25

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。  
令和3年3月末の数値である。

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
農業経営体数	21,015 経営体	1,075,705 経営体	24
法人経営体	675 経営体	30,707 経営体	18
総農家数	48,936 戸	1,747,079 戸	11
販売農家	19,924 戸	1,027,892 戸	24
参考) 世帯総数	780,730 世帯	55,830,154 世帯	20
集落営農数	318 集落営農	14,490 集落営農	20

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	21,064 人	1,363,038 人	28
男	12,986 人	822,144 人	28
女	8,078 人	540,894 人	31
65歳以上	16,896 人	948,621 人	26
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	80.2 %	69.6 %	-
認定農業者数	2,192 経営体	233,806 経営体	32
法人数	576 法人	26,080 法人	17
参考) 総人口数	1,978,742 人	126,146,099 人	17

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 岐 阜 県 の 農 業 ( 2 )

- ・ 農業産出額は1,093億円で全国第30位。うち鶏卵が127億円で16位、肉用牛が115億円で17位。
- ・ 農畜産物の生産状況は、花木類（鉢もの類）が4,930千鉢で全国第3位。かきが1万1,700t、くりが814tでそれぞれ4位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農家民宿の年間販売金額が2億1,600万円で全国第8位。

## 農業産出額

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
農業産出額	1,093 億円	89,557 億円	30
米	206 億円	16,551 億円	27
麦類	4 億円	521 億円	15 *
雑穀	0 億円	77 億円	22
豆類	6 億円	712 億円	21
いも類	4 億円	2,391 億円	44
野菜	339 億円	22,520 億円	24
果実	54 億円	8,741 億円	36
花き	59 億円	3,080 億円	18
工芸農作物	5 億円	1,553 億円	27
その他作物	5 億円	697 億円	27 *
畜産	411 億円	32,279 億円	22
肉用牛	115 億円	6,863 億円	17
乳用牛	43 億円	9,310 億円	29
生乳	39 億円	7,798 億円	29
豚	79 億円	6,596 億円	23
鶏	172 億円	8,724 億円	19
鶏卵	127 億円	4,577 億円	16
ブロイラー	19 億円	3,621 億円	26 *
その他畜産物	3 億円	787 億円	19
加工農産物	1 億円	436 億円	27

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

区 分	年次	岐 阜 県	全 国	全国順位	
花木類（鉢もの類）	出荷量	R2	4,930 千鉢	33,800 千鉢	3
かき	収穫量	R2	11,700 t	193,200 t	4
くり	収穫量	R2	814 t	16,900 t	4
モロヘイヤ	収穫量	H30	58 t	1,266 t	4
ほうれんそう	収穫量	R2	11,900 t	213,900 t	6
トマト	収穫量	R2	23,600 t	706,000 t	7
かぶ	収穫量	R2	3,000 t	104,800 t	10
えだまめ	収穫量	R2	1,230 t	66,300 t	11
小麦	収穫量	R3	10,700 t	1,078,000 t	11
さといも	収穫量	R2	3,280 t	139,500 t	12
こまつな	収穫量	R2	2,160 t	121,900 t	12
にんじん	収穫量	R2	5,700 t	585,900 t	12

出典：「花き生産出荷統計」、「野菜生産出荷統計」、「地域特産野菜生産状況調査」、「果樹生産出荷統計」、「作物統計」

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位	
農家民宿	総額	216 百万円	5,409 百万円	8 *
	農業経営体数	20 経営体	1,360 経営体	16 *
観光農園	総額	1,021 百万円	35,943 百万円	13
	農業経営体数	50 経営体	5,290 経営体	32
農産物直売所	総額	25,269 百万円	1,053,366 百万円	16
	事業体数	500 事業体	23,650 事業体	20

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 岐 阜 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は75.3億円で全国第16位。うち木材生産が45.6億円で14位。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が36万4,000m<sup>3</sup>で全国第17位、うち、ひのきが14万m<sup>3</sup>で7位。生きくらげ類が306.2tで1位。
- ・ 製材工場数は182工場で全国第1位。

## 林野面積

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
林野面積	841,066 ha	24,770,201 ha	5
国有林	155,314 ha	7,153,338 ha	11
民有林	685,752 ha	17,616,863 ha	4
人工林面積	384,574 ha	10,203,842 ha	6

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

## 林業経営体数

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,584 経営体	34,001 経営体	4
法人経営体	150 経営体	4,093 経営体	5

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

## 林業産出額

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
林業産出額	75.3 億円	4,286.4 億円	16
木材生産	45.6 億円	1,943.7 億円	14
栽培きのこ類生産	28.1 億円	2,259.6 億円	21

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
素材生産量	364 千m <sup>3</sup>	19,882 千m <sup>3</sup>	17
針葉樹	355 千m <sup>3</sup>	18,037 千m <sup>3</sup>	16
ひのき	140 千m <sup>3</sup>	2,722 千m <sup>3</sup>	7
すぎ	196 千m <sup>3</sup>	11,663 千m <sup>3</sup>	17
広葉樹	9 千m <sup>3</sup>	1,845 千m <sup>3</sup>	29
生きくらげ類	生産量 306.2 t	1,708.9 t	1 *
粉炭	生産量 612.7 t	5,118.6 t	3 *
薪	生産量 5,178.7 層積m <sup>3</sup>	83,536.1 層積m <sup>3</sup>	6
生しいたけ	生産量 2,101.4 t	70,279.6 t	13

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 製材工場数

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
工場数	182 工場	4,115 工場	1
製材用素材の入荷があった工場数	182 工場	4,067 工場	1
国産材のみ	155 工場	3,237 工場	1
国産材と輸入材	21 工場	653 工場	12

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 岐 阜 県 の 漁 業

- ・内水面漁業経営体数は、103経営体で全国第13位。
- ・水産物の生産状況は、あゆ（養殖業）が906 tで全国第2位、にじます（養殖業）が179 tで6位。

## 漁業経営体数

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
内水面漁業経営体数	103 経営体	4,772 経営体	13

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区 分	岐 阜 県	全 国	全国順位
内水面漁業・養殖業生産量	1,433 t	50,832 t	7 *
内水面漁業漁獲量	217 t	21,745 t	14 *
あゆ	169 t	2,084 t	5 *
内水面養殖業収獲量	1,216 t	29,087 t	6 *
あゆ	906 t	4,044 t	2 *
にじます	179 t	3,858 t	6 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

- 注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。
- 注：2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。
- 注：3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

# 岐阜県の農林水産業の話題等（1）

## 飛騨牛・鮎・柿を中心に県産農産物の輸出促進の取組

- 本格的な人口減少社会を迎え、将来的に国内マーケットの縮小が見込まれる中、海外では、アジア地域での富裕層の増加や日本食ブームを背景に、魅力あるマーケットが形成されつつある。  
県では、岐阜県農林水産物輸出促進協議会（事務局：JA全農岐阜）と連携し、飛騨牛・鮎・柿を中心に県産農産物の輸出促進に取り組んでいる。
- 新たな需要に対応するため、飛騨牛の生産拡大への取組として、岐阜大学及びJA全農岐阜との連携により令和2年4月に整備した「飛騨牛繁殖研修センター」を拠点に、岐阜県内で肉用牛繁殖雌牛の飼養農家を目指す者を対象に研修を実施し、飛騨牛の素（もと）となる子牛を安定供給する体制を構築するとともに、新たな担い手育成に取り組んでいる。



富有柿を使用したアフタヌーンティーセットの販売（香港）



飛騨牛繁殖研修事業 修了式  
（令和4.3.3美濃加茂市）

## スマート農業の全県展開

- 令和2年に開所したスマート農業推進センター（海津市）に加え、令和3年から、農業技術センター（岐阜市）と中山間農業研究所（飛騨市、中津川市）を新たに推進拠点に位置付け、情報発信機能を強化した。
- スマート農業に対する理解促進や農業者の技術力向上等を目的とし、スマート農業推進拠点の機能を活かし、地域ニーズに対応したセミナーや研修会、スマート農業機器の貸し出しに取り組んでいる。
- 県内各地域でスマート農業の取組を進めるため、国事業の「スマート農業実証プロジェクト」や、「次世代につなぐ営農体系の確立支援事業（データ駆動型農業の実践体制づくり支援）」等を活用し、県内各地域で技術実証に取り組んでいる。



スマート農業推進センター機能の  
全県拡大セミナー（令和3.6.11）



くり産地スマート農業実演会  
（令和3.11.7）

# 岐阜県の農林水産業の話題等 (2)

## 世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保存・活用・継承

- 「清流長良川の鮎」を通じて、人の生活、水環境、漁業資源が連環する「長良川システム」は、その独自性・重要性が評価され、平成27年12月に世界農業遺産に認定されている。
- 世界農業遺産「清流長良川の鮎」の情報発信拠点である「清流長良川あゆパーク」(郡上市白鳥町)は、釣りや鮎のつかみ取りといった川や魚に親しむ様々な体験を提供しており、平成30年6月のオープンから1,234日経った令和3年10月17日に来場者55万人を達成した。
- 世界農業遺産「清流長良川の鮎」に対する理解を深めるため、小中学校等が実施する長良川流域の文化や歴史等を学ぶ「ふるさと教育」に対して、講師等を派遣した。  
また、高校等が実施する鮎や長良川などに関する調査研究に対して支援を行うとともに研究成果発表会や成果発表パネル展を開催した。

## GAP (農業生産工程管理) の推進

- 県では、安全・安心で環境に配慮した持続可能な農業の実現のため、令和2年11月に「ぎふ清流GAP評価制度」をスタートし、農業現場において、「食品安全」「環境保全」「労働安全」などの観点から農場を点検・評価し、評価レベルの高い農場を県が認証している。
- ぎふ清流GAPの普及促進にあたり、GAP指導員を育成して農業者に対して丁寧なサポートを行い、GAPの取組に必要な施設改修、備品購入等の支援している。
- 消費者への認知度向上を図るため、販売フェア等やパネル展示等によるPR活動を展開している。

### 【ぎふ清流GAP評価制度の特徴】

- ・ 評価基準を点数化することで、農場管理の現状が分かりやすい
- ・ 国際水準GAPに対応しており、上級グレードを目指せる
- ・ 生産者の経済負担を抑えた制度
- ・ 評価が一定水準を満たす農場は、ロゴマーク表示によるPRが可能



「清流長良川あゆパーク」来場者55万人達成  
記念セレモニー (R3. 10. 17)



ふるさと教育 (講師派遣)  
小学校 鮎友釣り教室



成果発表パネル展



第1回ぎふ清流GAP評価制度証書交付式  
(R3. 5. 24)



ぎふ清流GAP評価制度  
のロゴマーク



ぎふ清流GAP農産物フェア